

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式								
E140P010		大分の授業スタンダード研究 (Study of Lesson Standards in Oita)							対面								
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態								
選択必修		1	4 (R5年度以降入学生)	教育学部													
担当教員	氏名 未定																
	E-mail 内線																
授業の概要	標準的な授業づくりの考え方として、「新大分スタンダード」を例にとりあげ、授業計画(指導案,板書計画,評価基準の設定)について理解を深める。さらに教員採用試験の模擬授業の過去問題を題材として,簡易的な指導案や板書計画を作成し,模擬授業を行う。模擬授業後の振り返り(指導教員や学生同士の協議)を踏まえながら,自己の課題と改善案の分析・構想を行う。以上の学習の成果を,各自が志望する自治体が求めている標準的な授業づくりの方針に対応した授業構想に活かす。																
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1 地域の学校現場が求める授業スタンダード(標準となる授業の考え方)を理解し,それに基づく授業案を構想することができる																	
目標2 志望する学校種(教科)に対応した指導案の作成と模擬授業の実践を省察的に分析し,授業の改善を図ることができる。																	
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
各DPへの関連度(計10)																	
授業の内容																	
1		オリエンテーション															
2		「新大分スタンダード」を踏まえた授業づくり															
3		模擬授業 めあてと課題															
4		模擬授業 主発問															
5		模擬授業 まとめと振り返り															
6		模擬授業 評価の観点															
7		模擬授業 授業中のコミュニケーション															
8		まとめ															
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
ラーニング	A:知識の定着・確認		模擬授業を構想し,簡易指導案を作成して,それに基づき模擬授業を行う。授業後に教員や学生同士で振り返りを行い,より良い模擬授業について追究する。				工夫	その他の									
	B:意見の表現・交換																
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		模擬授業を構想し,簡易指導案の作成(15h)														
	事後学修		模擬授業の実践記録レポートの作成(15h)														
	想定時間合計																
教科書		教科書は使わない。適宜必要な資料を配付する。															
参考書		各校種の学習指導要領															

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	模擬授業レポート	80%										
	最終レポート	20%										
注意事項												
備考	この授業は、各自治体の教員採用試験で出題される「模擬授業」の受験対策を想定した内容です。自治体によっては「模擬授業」が出題されない場合もあることを踏まえ、履修を決めてください。											
リンク	<div>URL</div>											